

人と防災未来センター 平成 25 年度事業評価

*評価基準 (4段階評価)

[S : 大変評価できる]
[A : 評価できる]
[B : あまり評価できない]
[F : 評価できない]

評価単位	評定	委員コメント
展示事業	A	<p>○毎年 50 万人台を維持していることは評価出来る。</p> <p>○海外からの来館者が増えているのは、今後の期待出来る。</p> <p>○この状態は企画展やイベントへの努力の結果であろう。</p>
資料収集 ・保存事業	A	<p>○地道な資料収集活動の他に、それらの公開、他機関との積極的連携は高く評価出来る。</p> <p>○既存資料を活用した二つの研究塾を始めた積極的活動は評価に値する。</p> <p>○資料保存のための恒温室が必要なのではないか。</p>
実践的な防災研究 と若手防災専門家の 育成事業	A	<p>○毎年問題となるのは、当該事業のミッションが必ずしも明確でないことであり、見直しをすべきであろう。</p> <p>○多忙な中で研究テーマを持って活動しており、今年度は大学へ3名の研究者を輩出したことは評価出来る。</p>
災害対策専門職員の 育成事業	S	<p>○内閣府と連携した防災スペシャリスト養成事業は評価出来る。</p> <p>○意識の低い自治体への説得の進め方の方策を練る必要があるのではないか。</p>
災害対応の 現地支援事業	評価保留	<p>○災害の少ない年度については、評価の意味付けが困難である。</p> <p>○事業「実践的な…」と「災害対応の…」については、その枠組み全体を見直す時期に来ているのではないか。</p>
交流ネットワーク 事業	A	<p>○「ぼうさい甲子園」のような事業は次世代を意識したユニークな試みであり、今後の展開が期待される。</p> <p>○人防に対する国内での評価は固まりつつあり、今後はこうした事業や活動の意義を海外に伝えることが望まれるが、JICA による同類の活動との連携が期待される。</p>